



待ちわびた春

持留さくらさくらまつり4年ぶり開催

4月2日(日)、持留地区農業構造改善センターにおいて、持留公民分館と持留地域づくり協議会主催による「第6回持留さくらさくらまつり」が4年ぶりに開催されました。

特設ステージでは、カラオケやフラダンス、ポップダンス、舞踊、尚志館高等学校吹奏楽部による演奏が披露され、大いに盛り上がりました。また、鹿児島弁劇団「でこんば」と持留小学校「もちっこ」による寸劇では、笑い声が響き渡りました。

今年は規模を縮小しての開催でしたが、開催を待ちわびた方が多く集まり、終始にぎやかな様子でした。



今年もおいしいマンゴーが実りました

4月10日(月)、井俣にある近松輝久さんのマンゴー農園において「令和5年産完熟マンゴー収穫祭」がJAそお鹿児島の主催で開催されました。

今年は、実が大きく成長する時期に晴天が続いたことで、着色・濃度とも順調な仕上がりとなり、本町と志布志市の農家11戸で販売数量31.5トンを見込んでいるとのことです。3月下旬から収穫が始まり、7月頃まで出荷が続きます。

近松さんは「今年も甘くておいしいマンゴーができた。母の日、父の日のプレゼントや贈答用にはもちろん、コロナも終息に向かってるので皆さんに笑顔で食べてもらいたいです」と話されました。



鹿児島大学と包括連携協定を締結

3月27日(月)、町と国立大学法人鹿児島大学が包括連携協定を締結し、協定調印式がおこなわれました。町と同大学は、平成23年に大崎ものづくり会館の施設使用に関する協定を締結し、これまで、大学生による町内小中学校への出前講座やプログラミング教育事業などで連携してきました。今回の協定は、それぞれの資源や機能などの活用を図りながら幅広い分野で相互に協力をして地域社会の発展につなげることを目的としています。佐野輝学長は「本校は9つの学部と9つの大学院研究科を有しています。本校が有する多岐にわたる知的資源、物的資源を活用することで、大崎町が掲げる将来像の実現に少しでも貢献できればと考えております」と話されました。